

キックリンカプセル 250mg

【この薬は？】

販売名	キックリンカプセル 250 mg Kiklin Capsules 250mg
一般名	ビキサロマー Bixalomer
含有量 (1カプセル中)	ビキサロマー 250 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高リン血症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、おなかの中で食べ物に含まれるリン酸と結合し、便と一緒に体の外へ排出することにより、リンの体内への吸収を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

慢性腎臓病患者における高リン血症の改善

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にキックリンカプセルに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・腸閉塞（腸が詰まった状態）の人
- 次の人は、この薬を慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・便秘の人
 - ・腸管に狭窄（腸が狭くなって、食べたものが通りにくくなった状態）のある人
 - ・腸管に憩室（腸に袋状のくぼみができた状態）のある人
 - ・腹部の手術を受けたことのある人
 - ・痔のある人
 - ・消化管に潰瘍のある人、または過去に消化管潰瘍になったことのある人
 - ・重い消化管運動障害の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1回2カプセルから開始します。
飲む回数	1日3回 食直前（食事の直前）に飲みます。

1日の最大使用量は30カプセルです。
血清リン濃度によって飲む量が調節されます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、1回とばして次の服用時間まで飲まないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腸管穿孔、腸閉塞があらわれることがあります。
この薬の使用を始める前に、日常の排便状況を医師に伝えてください。
毎日の排便状況（排便の有無、便の状態・色など）を確認してください。
便秘の悪化、腹部膨満感、特に高度の便秘、腹痛が続く、嘔吐などの症状があらわれたら、速やかに医師または薬剤師に相談してください。

- ・この薬は血中リンの排泄を促進する薬ではないため、この薬を飲み始めても、食事療法などによるリン摂取制限は指示どおりに続けてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血清リン、血清カルシウムおよび血清PTH（副甲状腺ホルモン）濃度が測定されます。低カルシウム血症や二次性副甲状腺機能亢進症の発現あるいは悪化がみられた場合には、ビタミンD製剤、カルシウム製剤などが投与されることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
腸管穿孔 ちょうかんせんこう	吐き気、嘔吐（おうと）、激しい腹痛
腸閉塞 ちょうへいそく	嘔吐、むかむかする、激しい腹痛、排便・排ガスの停止
虚血性腸炎 きょけつせいちょうえん	発熱、吐き気、嘔吐、むかむかする、急激な腹痛、下痢、血が混ざった便
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血を吐く、吐き気、嘔吐、腹痛、血が混ざった便、黒色便
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、胃の痛み、血が混ざった便、黒色便
便秘・便秘増悪 べんぴ・べんぴぞうあく	便が出ない、便秘

同類薬（他の高リン血症治療剤）であられる、特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



重大な副作用	主な自覚症状
憩室炎 けいしつえん	下腹部の痛み、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、からだがだるい
眼	白目が黄色くなる

部位	自覚症状
口や喉	吐き気、嘔吐、血を吐く
胸部	吐き気、むかむかする
腹部	激しい腹痛、吐き気、むかむかする、急激な腹痛、腹痛、胃の痛み、下腹部の痛み、食欲不振
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
便	排便・排ガスの停止、下痢、血が混ざった便、黒色便、便が出ない、便秘
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

色	淡黄色
PTPシート	
形状	硬カプセル 
長径	19.4mm
重さ	325 mg

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ビキサロマー
添加物	軽質無水ケイ酸、ヒプロメロース、カラギーナン、ソルビタン、脂肪酸エステル

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アステラス製薬株式会社
(<http://www.astellas.com/jp/>)
くすり相談センター
電話：0120-865-093
受付時間：9時～17時30分
(土、日、祝日、会社休日を除く)